

## 「春の交通安全フェア in 博多」で啓発活動 ～自転車の交通反則通告制度（青切符）導入に際し、安全利用を呼びかけ～

日本損害保険協会九州・沖縄支部（委員長：小泉 謙一 三井住友海上火災保険株式会社 執行役員）では、4月6日（月）に「JR博多駅前広場」で開催された、春の交通安全フェア in 博多に参加しました。同フェアは、春の交通安全県民運動（4月6日から15日までの10日間）の主要行事として、県民の交通安全に対する関心と理解を深めることを目的として開催されました。

主催者として、福岡県警察 住友 一仁 本部長から、「自転車は便利な乗り物である一方で、交通ルールを遵守しないと加害者になりうる乗り物である。自転車の交通反則通告制度（青切符）導入をきっかけに、自転車の安全な乗り方について考えてほしい。悪質な交通違反はしっかりと取り締まっていく」と挨拶がありました。

その後、行われた街頭活動では、歩行者に日本損害保険協会作成の「自転車事故の実態と備え」を含むチラシ等を配布し、交通事故防止を直接呼びかけました。

九州・沖縄支部では、今後も福岡県警察や関係機関と連携し、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施して参ります。



住友本部長からの挨拶



街頭活動の様子



配布した啓発物